

2010年7月9日

情報化施工技術のひとつである「TS 出来形」が標準的な工法として本格的に実用化決定！ 受発注者双方で利用可能な「TS 出来形基本設計データ確認ツール」を 2010年7月15日より無料配布開始

福井コンピュータ株式会社

建築・測量・土木のトータル CAD メーカー、福井コンピュータ株式会社（本社：福井県福井市、代表取締役社長：小林徳也）では、国土交通省を中心に今年度より施行された TS 出来形管理の監督・検査要領（案）（道路土工編/河川土工編）対応の「TS 出来形基本設計データ確認ツール」を 2010年7月15日より無料配布致します。

「TS 出来形基本設計データ確認ツール」の概要

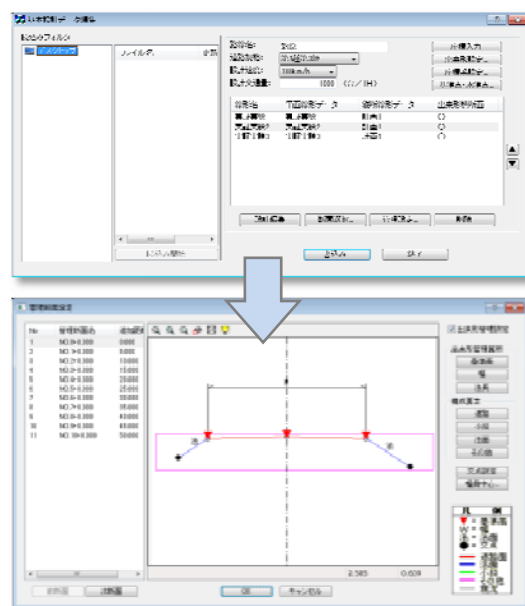
土木施工業では、国土交通省を中心に情報化施工に向けた取り組みが加速しています。

試験施工実験工事件数で比較すると、2008年度の37件に対して2009年度は146件と大幅に工事件数が増加し、今年度以降も情報化施工が拡大するものと予想されます。

情報化施工における導入技術数では、TS 出来形管理の導入が3割以上となっており、TS 出来形への対応は今後益々重要になるものと考えられます。

しかしながら、TS 出来形管理の業務において受注者は、2次元データである発注図から TS 出来形用の3次元データを作成する作業が必要となり、発注者も発注図通りに施工されているのかを受注者から提出される基本設計データ

(XML)を元に確認する必要があり、受発注者双方にとって負担の大きな業務となります。今回配布を開始する「TS 出来形基本設計データ確認ツール」では、TS 出来形管理の監督・検査要領（案）（道路土工編/河川土工編）に対応した管理検査用ビューワとなっています。また、基本設計データ（XML）を視覚的に確認可能なため、発注者は受注者提出の図面チェックを手軽に実施することが出来、受注者も基本データの確認や図面チェックを簡単に行う事が出来るなど、受発注者双方の業務効率化を実現することが可能です。



■基本設計データ（XML）を読み込み、路線縦横断データ・管理測点データを確認可能

■ **主な機能**

1. 「トータルステーションを用いた出来形管理の監督・検査要領（案） 道路土工編/河川土工編」に対応。
2. 基本設計データの確認や事前チェックを簡単に実施可能。
3. 路線縦横断データや管理測点データなど、各測点の管理項目や設計値を瞬時に確認可能です。

■ **無料配布開始日**

- 2010年7月15日（木）
 - ※ 弊社ホームページ (<http://www.fukuicompu.co.jp>) より、どなたでもダウンロードしてご利用頂けます。
 - ※ 動作環境及び使用方法等につきましては、弊社ホームページをご確認下さい。

■ **「情報化施工お役立ちサイト」も7月15日開設！**

- TS 出来形管理など情報化施工に関するコンテンツ満載の「情報化施工お役立ちサイト」を7月15日より開設します。
- 無料配布を行う「TS 出来形基本設計データ確認ツール」のダウンロードサイトや、情報化施工への対応ツール、情報化施工に関するお役立ちサイトの紹介など、情報化施工に関する各種情報を掲載します。

- このリリースに関するお問い合わせは下記までお願いします。

福井コンピュータ株式会社 CAD プロモーション部

Tel : 0776-67-6210 福井県坂井市丸岡町磯部福庄 5-6

ホームページ : <http://www.fukuicompu.co.jp/>